

ひまわりのえがお

白山台小学校 一年 寺澤 志織

げんきいっぱい、おもいきりきいろいなをさかせるひまわりが、わたしはだいすきです。

ひまわりをみると、わたしはきもちがほつとしたり、さみしくなったりします。ひまわりは、わたしのたいせつなおはなです。

きよねんの十二がつ、おかあさんのおねえちゃんのまあちゃんがびょうきでてんごくにいつてしまいました。

わたしがうまれたときからまいにちいっしよにすごしていて、まあちゃんはおかあさんみたいなひとです。おかあさんにしかられると、まあちゃんがそばではげましてくれて、たくさんげんきをくれました。うれしいときやかなしいとき、どんなときでもいつもまあちゃんがいつしよにいてくれました。

にわのひまわりといっしよに、まあちゃんにだっこされてとった、たいせつなしゃんがあります。わたしもまあちゃんも、ひまわりにまけないくらいにげんきいっぱいのえがおのしゃんです。

ことし、にわにさいたひまわりをみると、

さみしくてなみだがでそうになります。でもひまわりのそばで、まあちゃんがげんきにわらってくれているようにもみえます。まあちゃんが、がんばれとおうえんしてくれているようなきがして、げんきがわいてきます。だからわたしも、まあちゃんにげんきなえがおをとどけたくて、ひまわりをみて、にっこりしています。

まあちゃん、だいすきだよ。ひまわりは、わたしたちにとって、とくべつなおはなだね。